

# はばたく中小 300社

坂口製作所(大阪市西成区)

## アルミ・ステン加工のトップランナー

業員84人は1951年創業。77年に和歌山県清水町(現有田川町)に和歌山工場を建設し、町の誘致第1号企業として地域の雇用を支えてきた。現在、大阪本社3人の従業員以外は全て和歌山工場勤務である。

「アルミやステンレスを使用する製品を中心に、ものづくりのスペシャリストとして、常にナンバーワンを目指す」

「第3種ティグ溶接・中板」で準優勝した。今年10月に川崎市で開催される第43回競技会にも2選手が出場する予定だ。

和歌山工場にはレーザー切断機やタレットパンチプレスといった自動精密加工機も導入している。しかしティグ、ミグを主とするアーク溶接作業は溶接士の腕がすべて。「口

組合ものづくり力を培ってきた。中でもアルミ材とステンレス鋼に関する溶接技術力の高

「第3種ティグ溶接・中板」で準優勝した。今年10月に川崎市で開催される第43回競技会にも2選手が出場する予定だ。

和歌山工場内のティグ溶接



和歌山工場内のティグ溶接

プレスブレーキに続いて4年連続で補助金制度の審査をクリアし導入した。次は板金用の3D・CADを計画しており、プレスブレーキとCMT溶接機も増設したいそうだが、設備投資の資金捻出が課題という。

坂口社長は神戸製鋼所材料開発本部材料研究所に7年間務めた後、2001年に坂口製作所に入社。社長に就任したのは09年で40歳の時。和歌山県の旧清水町には自身も中学まで在任し、同級生も8人が同社・和歌山工場に従事している。

経営理念は「お客様に感動を与え、社会の発展に貢献するものづくりを実践し、すべての従業員とその家族の幸福を実現する」

アルミ材・ステンレス鋼は素材特性が数々のメリットをもたらすことは周知の事実。しかしその加工は難しい。特に溶接は難しい。ここに「不可能を可能にする」同社の存在価値がある。



坂口製作所(大阪市西成区) 坂口社長、從業員金属溶接競技会にお

## 全国軽金属溶接競技会で好成績

「不可能を可能にする」同社の存在価値がある。



坂口製作所(大阪市西成区) 坂口社長、從業員金属溶接競技会にお

和歌山工場内のティグ溶接

プレスブレーキに続いて4年連続で補助金制度の審査をクリアし導入した。次は板金用の3D・CADを計画しており、プレスブレーキとCMT溶接機も増設したいそうだが、設備投資の資金捻出が課題という。